

お金のことって ムズかしい!

それでも
ないかもよ?



全銀協の入門シリーズ



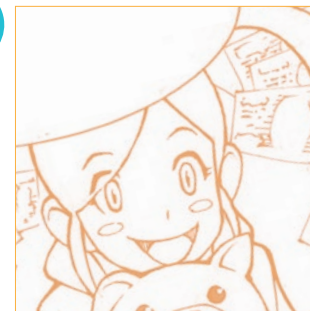
監修：ファイナンシャルプランナー 畠中雅子

もっと詳しく知りたい方はコチラ。

全銀協

検索

編集・発行 一般社団法人全国銀行協会 金融リテラシー推進室
2023年8月改訂



知って
おきたい!!



お金の話

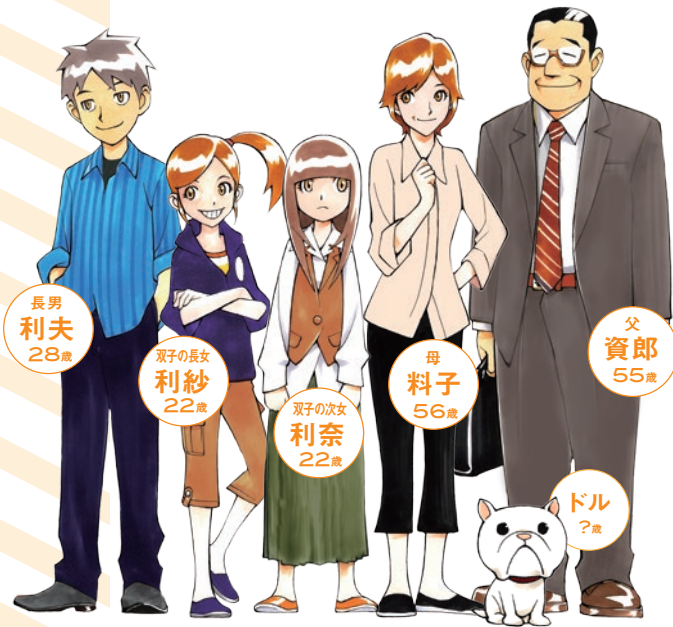
社会人なら当たり前! 簡単チェック

JBA 一般社団法人
全国銀行協会

銀行口座を通して、 私たちの生活は動いています。

銀行口座から、公共料金や住居費(住宅ローン、家賃)が引き落とされたり、社会人の給与や学生のアルバイト代が銀行口座に振り込まれたりするのは、今や当たり前になっています。私たちの生活は、銀行口座を通して動いているともいえるでしょう。そこでこの冊子では、銀行や金融商品にまつわる基礎的な知識をご紹介します。仕組みを理解してしまえば簡単! たくさんの便利な商品があなたの日々の生活を豊かにしてくれます。

登場人物



長男
利夫
28歳

双子の長女
利紗
22歳

双子の次女
利奈
22歳

母
料子
56歳

父
資郎
55歳

ドル
?歳

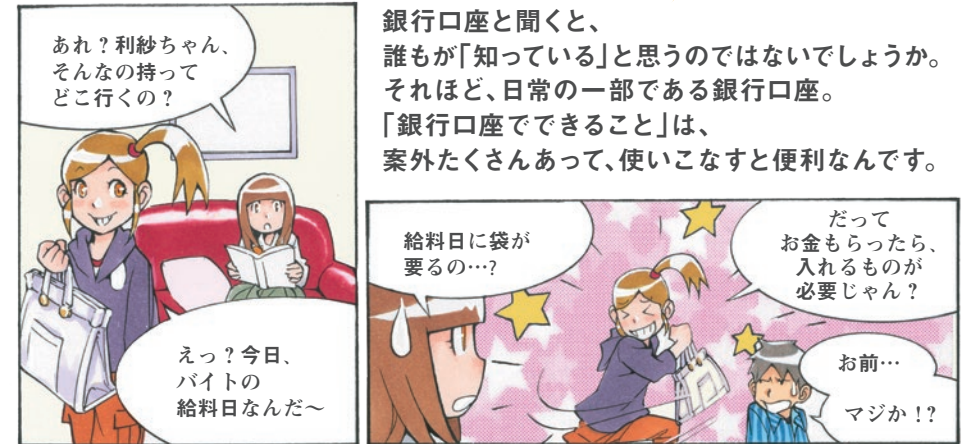
INDEX

導入	働いて得たお金は銀行口座に振り込まれる	P02
第1話	給与振込から始まる銀行との付き合い	P03
第2話	預けるため・増やすための金融商品	P05
第3話	知っておきたい金融商品の知識	P07
第4話	利便性は年々アップ! インターネットバンキングの魅力	P09
第5話	正しい知識を持って利用したいローンとクレジットカード	P11
第6話	インフレとデフレ 経済政策が家計に与える影響は?	P13

導入



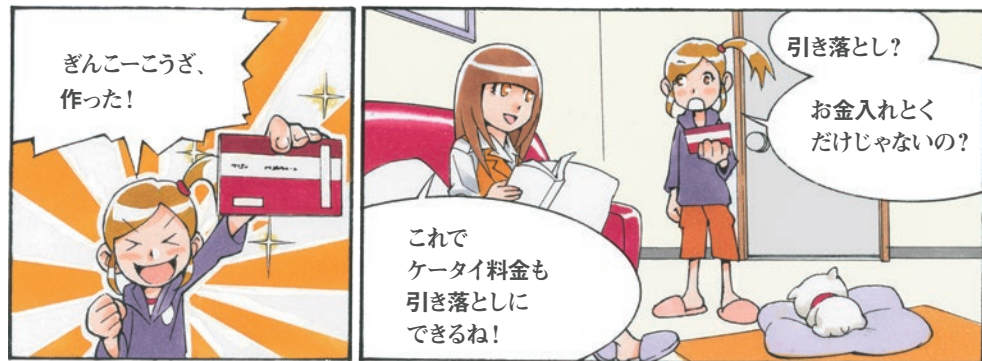
働いて得たお金は銀行口座に振り込まれる



日頃からよく利用しているのに、「銀行はお金の出し入れができるところ」くらいにしか思っていなかったよ。やっぱり大人になると自立して、お金の管理も必要になるわけだから、今のうちから少しずつでも金融知識を学んでおかないとちやいけね。



給与振込から始まる 銀行との付き合い



生活周りのお金の管理は、銀行口座を中心に行います。まずは銀行口座の役割を知り、どのように使っていくのかを考えることで、より便利な生活を送る工夫をしましょう。



生活関連のお金の流れを見ていこう

公共料金の引き落としや資産形成も

食費や公共料金など日々の生活の維持にも、将来に備えた計画的な貯蓄(運用)にも、銀行口座を中心としてお金が動いています。

生活関連のお金の多くは、銀行口座を通して管理できるのね



自動振替で普通預金から同じ銀行の定期預金に預ける



クレジットカードの支払い、公共料金などが銀行口座から自動的に引き落とされる

口座から現金を引き出して、生活費として使う

投資のため、銀行口座から引き落として証券会社の口座に振込みをする

銀行口座から習い事代などの振込みをする

金融フンポイントレッスン

変形の可能性がある印鑑はNG!

▶ 銀行口座の印鑑は?

口座開設するときの印鑑は、どんなものを選んでいいのでしょうか?

銀行口座を開設するとき一般的に必要なのが印鑑です。銀行によって異なりますが、多数の人が同じ印鑑を所有する可能性のあるキャラクター印鑑や、ゴムなどの素材で長く使っていると変形してしまう可能性のある印鑑は使えないのが一般的です。また最近では、口座開設に印鑑は不要とする銀行も増えています。

資金ニーズごとに3要素を意識して預けよう

お金を貯める目的やその使い道によって、利用する金融商品を選んだほうが便利です。そのときには、次の3要素「いつでも引き出せるのか(流動性)」「どれくらいリスクが存在するのか(安全性)」「どれだけ収益が期待できるのか(収益性)」を意識して、決めていきましょう。

流動性

お金が必要になったとき、いつでも引き出せるかどうか。生活費を管理する普通預金が高い流動性の口座の代表的な存在です。

安全性

預けたお金がどの程度保証されるのか。普通預金のほか、定期預金なども安全性の高い金融商品といえます。

収益性

どれだけ収益(利益)が期待できるのか。外貨預金、投資信託などが収益性の高い金融商品といえます。

安全で増やせる金融商品があると、うれしいけど都合がよすぎかなあ

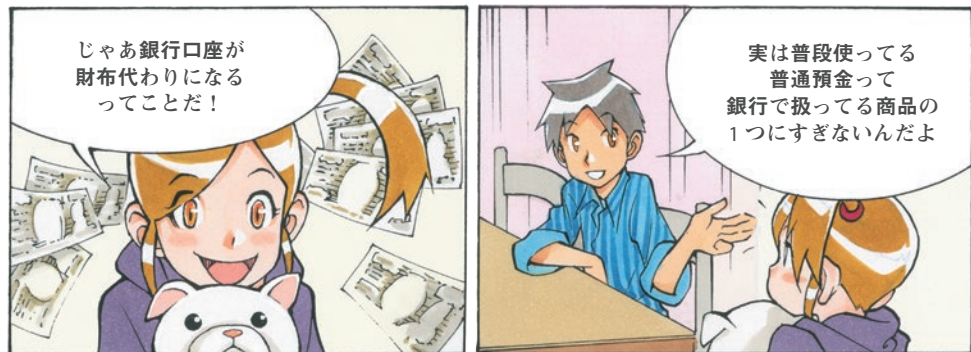


CHECK POINT!!



銀行口座を通してお金は行き来しますが、貯蓄にまわす分を取り置くことも忘れないようにしましょう。

預けるため・増やすための 金融商品



金融商品には、様々なものが用意されています。どんなものがよいか分からない…となる前に、商品の特徴を把握することで選ぶ材料にしましょう。



これだけは押さえておきたい 金融商品の基礎知識

銀行で扱う金融商品はとても数が多いのですが、すべてを知る必要はありません。まずは基本となる金融商品を理解することが大切。貯蓄額が増えてきたら、利用する金融商品の数も増やしていきましょう。

商品の種類	普通預金	貯蓄預金	定期預金	外貨預金	投資信託	国債
特徴は？	いつでも自由に預入れ、引出しができる。お財布代わりに使える便利な預金。	普通預金と定期預金の中間に位置し、預け入れた金額によってお得な金利が付く。	決められた満期日まで引き出すことができないが、普通預金よりも高金利。	円ではなく、外国の通貨に替えて預ける。為替相場の変動の影響を受ける。	専門家が資金を運用し、その成果を分配する。	国が発行する債券。1万円単位で購入できる個人向け国債が有名。
安全性は？	元本保証	○	○	△	×	○
	預金保険の対象	○	○	×	×	×
流動性は？	★★★★★	★★★★☆	★★★☆☆	★★☆☆☆	★★☆☆☆	★★☆☆☆
収益性は？	★☆☆☆☆	★★☆☆☆	★★☆☆☆	★★★★☆	★★★★☆	★★★★☆

どの商品も一長一短！私に合う商品ってなんだろう？



金融ワンポイントレッスン

銀行の店舗で保険に加入できるように！

▶ 銀行で保険に入れる？

保険といえば、保険会社の営業さんから入るものというイメージを持っていませんか？

銀行はお金を預けたり、借りたりするところというイメージがあるかもしれませんが、実は保険にも加入できます。火災保険や自動車保険の損保商品のほか、死亡保険や医療保険、個人年金保険などの生保商品にも入れます。



収益性が高いと流動性が低くなるのが一般的。また安全性が低いほど収益性が高くなるという傾向があります。

知っておきたい 金融商品の知識



お金を預けるのならば、安定していて、たくさん増えて…。
やはり誰にとってもそれが理想ではないでしょうか。
しかし、そんな都合のよい商品はあるのでしょうか？



リスクとリターンは「背中合わせ」の関係

リスクとリターンの関係は？

リターンとは得られる収益を指します。一方のリスクは、金融商品が持つ“価格変動の振れ幅”を意味します。一般的に「リスクが大きい」というと、“損をする可能性”をイメージしがちですが、多くの利益が得られる可能性と多くの損失を出してしまう可能性の両方を持ち合わせているのがリスクの意味です。

自分のお金は、安全で、かつ有利な金融商品で運用したいと思うものですが、リスクとリターンの関係を意識して選ぶことが重要なポイント。通常は金利(利回り)が高い金融商品ほどリスクも大きく、金利が低い金融商品はリスクも小さくなります。

金利が高い
↓
リスクも大きい

金利が低い
↓
リスクも小さい

金融ワンポイントレッスン

リスクゼロの商品はありません

▶ 普通預金はノーリスク？

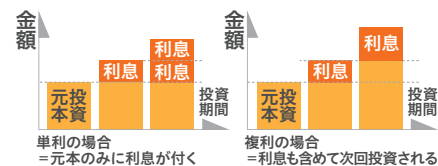
安全性の高い金融商品の代表ともいえるのが普通預金。そんな普通預金にリスクはないのですか？

安全性の高い金融商品といえば、真っ先に思い浮かぶのが普通預金。とはいえ、普通預金もノーリスクとはいきれません。将来、急激なインフレが起こった場合、収益性が低いために預金の価値が目減りする可能性(=インフレリスク)があるからです。

これだけは知っておきたい金利の仕組み

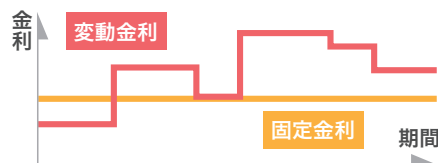
単利と複利

単利型の金融商品では、投資元本のみ利息が付き、そのため利回りを計算する際は、投資元本を変えずに計算します。一方複利型は、過去に発生した利息に対しても利息が付き、投資元本+利息を「新たな元本」として利息計算を行います。



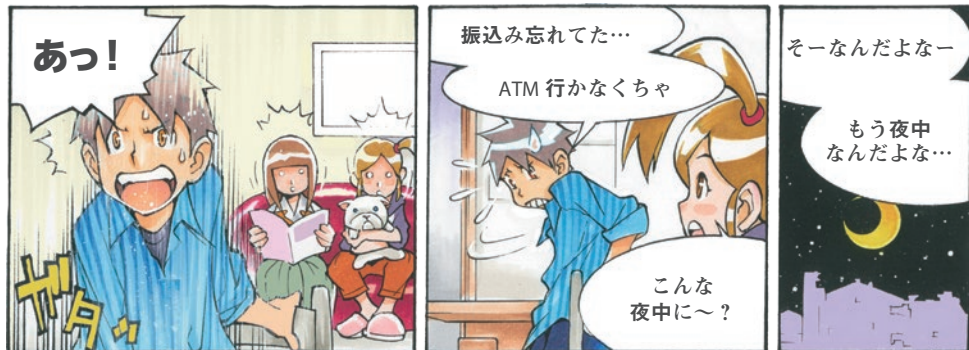
固定金利と変動金利

固定金利は預け入れから満期まで、金利が変わらない金融商品のこと。変動金利は預け入れから一定期間が経過したのち、金利が変動する金融商品です。金利の変動回数は、金融商品によって異なります。



リスクとリターンは表裏一体。金利の高い商品は、
リスクが大きくなる傾向にあるという点に注意が必要です。

利便性は年々アップ！ インターネットバンキングの魅力



お金を振り込むときは、ATMへ行って…。
しかし、振込みはインターネットバンキングでもできるんです！
急な振込みが必要になっても安心ですね。



自宅に居ても外出先でも取引できるのが魅力

インターネットバンキングには、主に2通りの方法がある

「インターネットバンキング」は、パソコンやスマートフォンなどを利用して行う銀行取引のことで、「オンラインバンキング」とも呼ばれています。インターネットバンキングには、主に普段利用している銀行のネット支店などを利用する方法と、オンライン上での取引を専門に行う銀行の口座を利用する方法の2通りがあります。

普段利用している銀行に申し込む

まずは普段利用している銀行をチェック。インターネットバンキングに申し込むと、ネット取引専用カードを発行することなどで利用可能になります。ネット専門のネット支店を開設する銀行も増えています。

ネット専門銀行で口座を開設する

店舗を持たず、オンライン上での取引を専門に行う銀行で口座を開設します。口座を開設すると、キャッシュカードが送られてきます。コンビニATMなどで入出金ができます。

テレフォンバンキングは？

ネット上での取引が得意でない場合、電話での取引も可能です。電話のできる取引は銀行によって異なりますが、残高照会や振込み、振替え、定期預金の預け入れなどが可能です。

金融ワンポイントレッスン

セキュリティ対策ソフト更新を忘れずに！

☑ ネット金融犯罪にご注意！

様々な手口で展開される金融犯罪。巻き込まれないようにするには、どんな注意が必要ですか？

進化の速いネットの世界。それはウイルスについても同様です。怪しいメールに誘導されてIDやパスワードを打ち込まないのはもちろん、セキュリティ対策ソフトは常に最新の状態で更新して、ウイルスに感染しないように注意しましょう。

インターネットバンキング利用の注意点

振込みや定期預金の預け入れなどはネット上で完結しますが、現金を引き出したいときは、ATMを利用するのが一般的。コンビニATMで引き出せるケースも多くなり、ますます便利になっています。

昨今、IDやパスワードなどが盗まれ、不正送金される事件が急増しています。銀行から届いたメールでIDやパスワードを求められることはないの、個人情報要求してくるメールは無視するのが基本です。またURLをクリックして、ニセのHPに誘導されてしまわないよう気を付けましょう。

！ インターネットバンキングのメリットは？

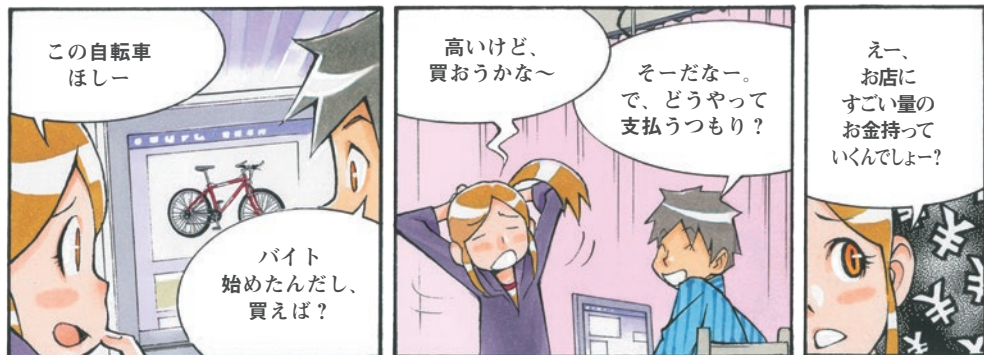
- 24時間365日取引OK！*
- 店舗が混んでいるときでも、瞬時に取引が完了する
- 振込みやATMの手数料がお得な場合がある
- 定期預金の金利が上乘せされているケースも多い
- 住宅ローンをはじめとする各種ローンの金利優遇が受けられる場合も

*一定の時刻を過ぎた振込み等については、翌営業日の扱いとなることがあります。また、対象外の取引もあります。

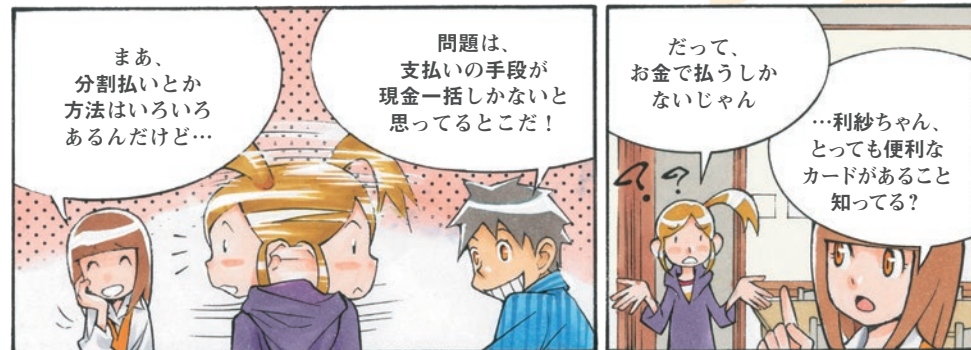


インターネットバンキングは便利な反面、金融犯罪に悪用される可能性も。セキュリティ対策ソフトは常に最新版に！

正しい知識を持って利用したい ローンとクレジットカード



大きな額の支払いから、日常の買い物まで、ローンやクレジットカードは、生活に欠かせなくなっています。特性を知って、上手く使いこなしましょう。



種類によって金利も多様な ローンとクレジットカード

使い道が限定されたローン

銀行では使う目的に合わせた各種ローンを用意しています。多くの人が利用する住宅ローン以外に、リフォームローンや自動車ローン、教育ローンなども、銀行が扱うローンの代表的な存在といえます。

住宅ローン

マイホームを購入する際、自己資金では不足する金額を貸してくれる。

リフォームローン

家の修繕費用や、省エネ、耐震などのリフォーム費用などを貸してくれる。

自動車ローン

車を購入する際、自己資金では不足する金額を貸してくれる。

教育ローン

高校や大学の受験費用や入学費用、新生活の準備費用などを貸してくれる。

使い道が自由なフリーローン

住宅ローンや教育ローンなどとは違い、用途が限定されていないローンもあります。これは「フリーローン」と呼ばれるローンで、用途が限定されていない代わりに、限定されているローンに比べ、金利は高めに設定されています。

金融ワンポイントレッスン

ポイントを上手に使おう!

カードでポイント

クレジットカード会社では、利用代金に応じたポイントを付与しています。ポイントは好きな商品と交換が可能です。

クレジットカードの中には代金を支払うと、支払額に応じてポイントが貯まるものも。貯めたポイントは、好きな商品と交換できたり、電子マネーやマイルなどに移行させることも可能です。上手に使えば、生活が潤います。

ローンもクレジットカードも、代金を後で払う「ツケ」のようなもの。その金利は商品の種類によって異なります。

「後払い」で用途が広いクレジットカード

広がるクレジットカード

ショッピング以外にも、公共料金の支払い、生命保険や損害保険、国民年金の保険料の支払いなどにカードを利用できます。その発行枚数は約3億枚となっており、私達の生活に身近なものとなっています。

●クレジットカード発行枚数の推移



クレジットカードの支払方法

クレジットカードには、いくつかの支払方法があります。金利がかからないのは翌月一括払いやボーナス時一括払いなど。反対に金利がかかるのは3、6、10、15回などの分割払いやリボルビング払いです。そして支払回数が多くなるほど、適用される金利は高くなるのが一般的です。

●毎月1万円のリボ払いの場合 (手数料は支払額に含めるウイズイン方式)

	1月	2月	3月
買い物月			
買い物額	2万円	7,000円	1万5,000円
支払額	1万円	1万円	1万円

一決められた上限額の範囲内で買い物ができ、月々の支払いは一定額で済む。ただし、どのくらいの手数料を払っているのかが分かりにくい点もある。



生活に欠かせないクレジットカードですが、計画的な利用が大切。手元にお金がなくても欲しいモノが買ってしまう手軽さのため、一歩間違えると返済に窮する可能性もあります。

インフレとデフレ

経済政策が家計に与える影響は？



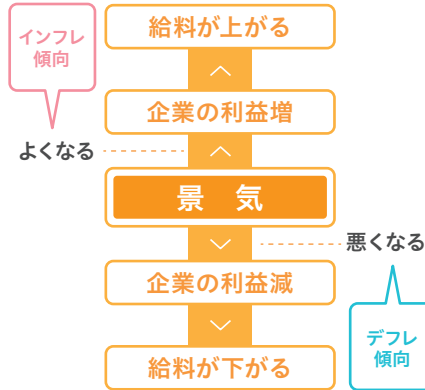
実は、私達の家計には経済の動きが影響しているのです。
経済の動きを見ると、お金の使いどきも分かってくるかも!?



経済が動くと、家計も動く

インフレとデフレ、それぞれの特徴は？

インフレは、持続的に物価が上昇する現象。つまりモノの値段が上がって、お金の価値が下がることを意味します。反対にデフレは、持続的に物価が下降する現象。モノの値段が下がってお金の価値は上がります。インフレが起こると、モノの値段とともに給料も上がって景気がよくなると考えられており、デフレ状態にある日本では、インフレに誘導する政策を取っています。



インフレ時には株式の価値は上昇する傾向がある一方、預貯金や債券は価値が目減りするリスクがあるよ

金融ワンポイントレッスン

景気の現状把握や将来の予測に関心を!

景気は何で分かる？

「景気がいい」、「景気が悪い」といった言葉を見かけますが、実際は景気動向指数などで判断されます。

景気動向指数とは、生産状況や取引状況、雇用状況などといった経済活動全般の動向を表した数値で、内閣府が毎月発表しています。景気を肌で感じる以外にも数値を確認し、実際どうであるかを把握することも重要です。

政府や中央銀行では、景気や物価の動向に応じた政策を行っています。
しかし現実には、想定を超えるインフレやデフレが進行することがあります。

経済政策ってどんなことをしているの？

経済政策には、財政政策と金融政策があります。いずれも、国を運営する上で重要な政策であり、政策の打ち出し方によって、私達の暮らしにも大きな影響が出てきます。たとえば住宅ローン金利が上がったり、下がったりするのも、金融政策が一因といえます。

財政政策

国の収入(歳入)と支出(歳出)のバランスを調整したり、減税したり増税するなどにより、経済に影響を及ぼす政策を指します。税収の範囲内に歳出を抑えるのが理想ですが、日本では税収だけで歳出をまかなうのは難しいため、国債を発行するなど、借金でまかなう部分が多くなっています。

金融政策

中央銀行である日本銀行が、市場に流通させる通貨の量を調整することで、物価を安定させ経済活動を調整します。たとえば、通貨量を増やせば金融緩和に向かいますし、通貨量を抑えれば金融の引き締めにつながります。

まとめ

「金融」という言葉を聞くと、難しく、とっつきにくいと感じる方も少なくありませんが、知らない時代に乗遅れたり、損してしまうことも…。経済の流れと金融の知識を正しく知って、お金をうまく管理していきましょう。

正しい金融知識は、あなたの生活を守ることにもなります!